

シンポジウム

# 歴史の智慧をどう活かすか？

— 21世紀の日本がアジアと共生をめざすための歴史研究 —

2017年 12月9日(土)

ICU本部棟206 13:00-18:30

「日系中国語新聞『順天時報』と近代東アジアにおけるナショナリズムの相剋」  
青山治世（亜細亜大学）

「1937年南京事件に先行する南京空襲（8～12月）の時空間復元」  
片山剛（大阪大学）

「中国における家族の近現代史的展開」  
川口幸大（東北大学）

「大清帝国の多民族統治と八旗制—広域支配の制度と構造」  
杉山清彦（東京大学）

「ブータン王国の国民総幸福(GNH)の歴史的考察」  
真崎克彦（甲南大学）

「富山妙子の画家人生と作品世界—ポストコロニアリズムの視点から」  
真鍋祐子（東京大学）

「近世西アジア社会における「異教徒」と宗教的社会変容」  
守川知子（東京大学）

